

平成 27 年度 大阪府立河南高等学校 第 1 回学校協議会 報告

〔 日 時 平成 27 年 5 月 21 日 (木) 13:00～
場 所 本校校長室 〕

1 校長挨拶

2 協議会委員、事務局教職員の紹介

協議会委員

吉川 測雄 (大阪ファッションアート専門学校 顧問)
島 善信 (大阪教育大学教職教育研究センター 特任教授)
水本 哲也 (富田林市立第二中学校 校長)
岡澤 潤次 (関西外国語大学 教授)
恵島 明 (株式会社「えじま」会長)
小杉 紀賛 (PTA 会長)

事務局教職員

仲内一雄(教頭)山本初男(事務長)吉村正信(首席)備後幸二(首席・生徒指導主事)
田中誠二(進路指導主事)横山博次(第 3 学年主任)

3 協議会設置要項及び運営計画について

4 協議会会長の互選

吉川測雄氏が選出されました

5 議事

(1)現状報告と(2)質疑応答並びに学校への提言 (◎印：委員、○印：学校)

① 入学者の状況等 (角田教務部長)

- カリキュラムは細部の検討を始めようとしている。
- 今年の入試についても昨年までと同様、倍率は高かった。
- ◎男女比はどのようになっているか？
- 現 1 年生と 3 年生は 50 名ほど女子が多い状況になっている。2 年生はそこまでではないが女子のほうが多い。

② 卒業生の進路状況等 (田中誠進路指導主事)

- 67 期は推薦入試に偏らず、一般入試にウェイトを置き 3 月まで頑張った。センター利用で私大に合格したものも多い。
- センター試験の受験者を全体の 4 割ぐらいにしたい。
- e コースの最初の卒業生は半数が教育系の学部に進学した。
- ◎大教大で合宿をしたこともある。行くだけでも刺激になるので検討してみてもよいのでは。入試課で学校を案内することも可能である。図書館で勉強する学生や、体育館・グラウンドで一心不乱にスポーツをする学生をみると進学したいという気持ちが湧いて来る。
- ◎だんだん教員採用も厳しくなってくるが、e コースが学校の売りになる。

③ その他 (中村特活主担ほか)

- クラブ加入率は 90%を超えている。
- ◎ボランティア部などを作って地域活動に参加するなどすると、AO 入試にも有利にはたらく。実際に書類に記入する欄もある。
- ◎クラブ維持のため外部講師の利用は？また顧問の決め方は？
- クラブの外部講師は相当数いる。顧問の決定は苦勞している。
- ◎1 年生で英検全員受験になっているが、クラブの E S S が低迷している。
- ◎英検 3 級合格者が減っているのは？
- 2 年生は TOEIC ブリッジを全員受験させているので、その影響もある。
- ◎選挙権の 18 歳引き下げについて学校で何か動きはあるか？
- これといった動きはないが、BUZZ 学習で社会情勢なども取り上げている。
- ◎PTA としては、PTA が如何に学校に関わっていけるかを考えている。
- ◎皆勤賞は大変良いことだと思う。褒めることも大事だ。

6 校長謝辞